

横須賀港の東京九州フェリー

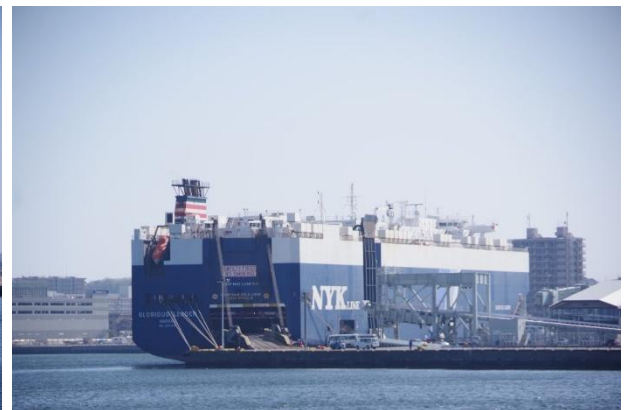
会員 福富 廉

池田事務局長のレポート、学会ニュース 2025-8 (0414) 【東京湾シップウォッチング】中のリクエストに応じて、表題のレポートを作成した。ご存知のとおり、東京九州フェリーは横須賀港では 21 時入港、23 時 45 分出港のため、ほぼ似た時間の新門司港共々、港での普通の撮影はできない。しかしながら、日曜・祝日は基本的に運休（運航する場合も有るのでダイヤ要注意）なので、月曜あるいは祝日の翌日は港に停泊していて、撮影することができる。全景を撮影するには午前中が順光で、猿島あるいは猿島行きのお客様上からか、または港の奥の“うみかぜ公園”からの撮影が基本である。

ちなみに、このフェリーの岸壁は自動車荷役と共用なので、場合によっては沖出しして錨泊していることもあるので AIS アプリで確認することが必要である。

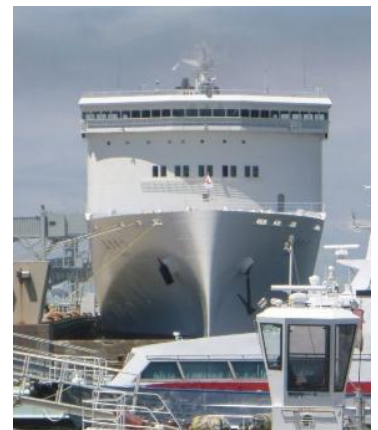


横須賀港フェリーターミナルの全景
東京湾フェリーの黒船クルーズの船上から

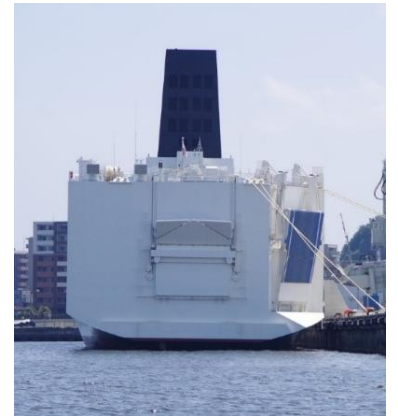


横須賀港フェリーターミナルで荷役中の日本郵船の自動車運搬船「GLORIOUS LEADER」(ナッソー船籍)
対岸の米軍基地内から (基地開放日に撮影)

1. 「はまゆう」

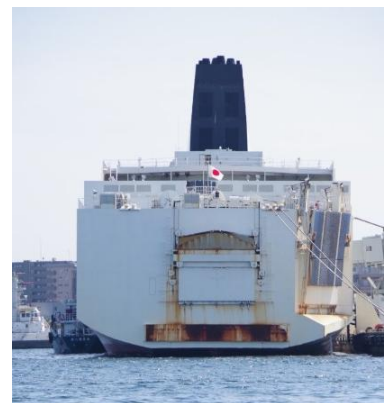
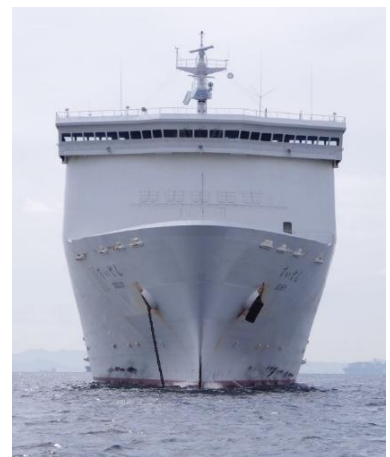


2. 「それいゆ」



東京湾で錨泊中

3. 「すいせん」



東京湾で錨泊中、冬季で前面の窓が全て塞がれている（右上も）

なお、僚船「すずらん」については、港での写真をまだ撮れていません。